

研究業績一覧 (2018年)

飯塚 信夫 (イイツカ ノブオ)

1 論文

「税務データの可能性」中央経済社『税務弘報』、2018年7月号、pp.2-3

「GDP Announcements and Stock Prices」東北学院大学経済学部ディスカッションペーパーシリーズ、#2018-5、2018年7月(舟島義人氏、大塚芳宏氏との共著)

「GDP 統計で進む供給側重視」毎日新聞出版『週刊エコノミスト』、学者が斬る視点争点、2018年5月22日号、pp.50-51

「経済データの情報不足は混乱招く」毎日新聞出版『週刊エコノミスト』、学者が斬る視点争点、2018年4月10日号、pp.50-51

「Nowcasting gross domestic product in Japan using professional forecasters' information」Kanagawa University Economic Society Discussion Paper No.2017-04、2018年3月

「税務データを GDP に活用しよう」毎日新聞出版『週刊エコノミスト』、学者が斬る視点争点、2018年3月6日号、pp.52-53

「GDP 速報の修正幅は小さくできる」毎日新聞出版『週刊エコノミスト』、学者が斬る視点争点、2018年1月30日号、pp.50-51

2 学会発表

「Nowcasting gross domestic product in Japan using professional forecasters' information」

- ・応用経済時系列研究会 第35回研究報告会、2018年7月21日
- ・International Symposium on Forecasting 2018 in Boulder、2018年6月18日
- ・85th International Atlantic Economic Conference in London、2018年3月17日
- ・研究集会「ファイナンス・経済統計の諸問題」(釧路公立大学)、2018年2月20日

3 講演等

「経済統計観察の落とし穴」、平成30年度兵庫県統計活用セミナー、2018年11月19日

「GDP 推計の精度向上に向けて」、内閣府における研究会、2018年4月4日

「GDP 改定の特徴と統計改革」、TG (東北学院大学) 経済学研究会、2018年2月22日

4 その他

産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「人事に役立つ経済データの読み方」

- 過去にさかのぼって改定された GDP (2018年1月5日・20日号)
- 労働分配率は低下しているのか (2018年2月20日号)
- 外国人観光客消費、本当に増えてる？ (2018年3月20日号)
- 景気動向に変調か？ (2018年4月20日号)
- 設備投資は底堅いか？ (2018年5月20日号)
- 多様化する「失業率」指標 (2018年6月20日号)
- 存在感増す、「無職世帯」 (2018年7月20日号)
- どうなった？「量的・質的金融緩和」 (2018年8月5日・20日号)
- 賃金上昇は本物か？ (2018年9月20日号)
- 労働分配率、上がっている？下がっている？ (2018年10月20日号)
- 「軽減税率」の効果はどの程度？ (2018年11月20日号)
- 日本は「キャッシュレス後進国」？ (2018年12月20日号)

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- Is Currency in Circulation Expanding? (2018年1/2月号)
- Is Labor Share Decreasing? (2018年3/4月号)
- The Current Economic Cycle as seen in the Tankan (2018年5/6月号)
- Understanding the Consumption Structure Through Family Income & Expenditure Survey (2018年7/8月号)
- New Indicator of Japan's Unemployment Rate (2018年9/10月号)
- US-China Trade War: What Is the Impact on Japanese Exports? (2018年11/12月号)

出雲 雅志 (イズモ マサシ)

1 翻訳

ジャン＝ピエール・ポティエ (竹永進訳／出雲雅志訳注・補訳) 「ジャン＝バティスト・セーの蔵書への注記：「山口文庫」セー旧蔵書の書き込み」『神奈川大学史紀要』第3号、73-92、2018年3月

2 学会報告

Masashi Izumo and Hiromi Morishita, Malthus in Japan in the late nineteenth and early twentieth centuries', Sapporo Conference 2018 on Malthus: The Reception of Thomas Robert Malthus in Europe, America and Japan, September 4-5, 2018, Sapporo, Hokkai Gakuen University

3 その他

- 「神奈川大学図書館「山口文庫」とセー自筆の書き込み：フランスから日本にわたったJ. -B. セー旧蔵書200年の不思議な旅」『神奈川大学史紀要』第3号、94-96、2018年3月
- 「深謝」神奈川大学人文学会『人文研究（馬興国先生追悼号）』第194号、28-30、2018年3月
- 「中山伊知郎：「大中山博士」とよばれた経済学者」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学人物誌：横浜専門学校編』70-73、2018年10月

浦上 拓也（ウラガミ タクヤ）

1 論文

- 「NB ポートフォリオとPB 製造受託」『商経論叢』2018年5月、53号3巻、pp.1-14

2 学会発表

- 「メーカーのブランド・ポートフォリオ戦略とプライベート・ブランド製造受託」日本商業学会関東部会研究会（青山学院大学）、2018年11月10日

大島 朋剛（オオシマ トモタカ）

1 学会報告

- 「戦前期灘酒造業にみる出稼ぎ労働者とその移動」第22回経営史学会東北ワークショップ（東北大学）、2018年6月30日
- 「関善酒店の酒造経営－三代目徳太郎・四代目善蔵の時代を中心に－」経営史学会関西部会大会2018年「酒造家と地域社会－秋田県鹿角郡関善酒店の事例から－」（大阪市立大学）、2018年8月10日

2 講演

- 「120年前の日本経済と丸三麦酒」半田赤レンガ120歳の誕生会（半田赤レンガ建物）、2018年10月27日

3 研究助成

- 「近代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～20年度）、課題番号：17K03852
- 「近代伏見酒造業の発展と都市化に関する総合的研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～19年度）、課題番号：17K03836

岡村 勝義 (オカムラ カツヨシ)

1 報告書

非営利法人研究学会 公益・一般法人研究会 (2017年度最終報告書) 『公益・一般法人制度の研究－日・英・米の制度の比較研究－』 (座長：岡村勝義)、2018年9月

2 学会報告

「公益・一般法人制度の研究－日・英・米の制度の比較研究－ (最終報告)」 (非営利法人研究学会公益・一般法人研究会 (座長：岡村勝義)) 非営利法人研究学会第22回全国大会 (武蔵野大学)、2018年9月9日

3 論文

「大学の情報開示と統合報告－大学における統合報告モデル試案－」 『経済系』 (関東学院大学) 第273集、2018年3月、26-40ページ

小川 淳平 (オガワ ジュンペイ)

1 論文

「保険契約会計における対応」 『会計』 第193巻第6号、pp.41-53、2018年6月

2 講演

「保険契約を含む負債の測定」 日本保険・年金リスク学会研究会 (早稲田大学)、2018年6月1日

工藤 喜美枝 (クドウ キミエ)

1 著書

『入門！Excel VBA クイックリファレンス [改訂版]』、ムイスリ出版、2018年11月 (単著)

2 論文

「Excel VBA による分類記号付与学習教材の開発」 『経済貿易研究』 第44号、2018年3月、pp.103-116

児玉 謙太郎 (コダマ ケンタロウ)

1 学術論文・ノートなど

- 松井博史・児玉謙太郎「カウンセリング場面における2者間ダイナミクスの探索的研究」、*余暇ツールズ学会誌*、第5号、pp.9-16、2018【査読あり】
- 児玉謙太郎・牧野遼作・清水大地、「じゃんけん行為における身体協調に掛け声が与える影響」、*電子情報通信学会和文論文誌*、Vol.J102-A、No. 2、accepted【査読あり】
- K. Kodama, S. Tanaka, D. Shimizu, K. Hori & H. Matsui, "Heart rate synchrony in psychological counseling: A case study", *Psychology*, Vol.9, No.7, pp.1858-1874, 2018【査読あり】
- K. Kodama, K. Hori, S. Tanaka & H. Matsui, "How interpersonal coordination can reflect psychological counseling: An exploratory study", *Psychology*, Vol.9, No.5, pp.1128-1142, 2018【査読あり】

2 学会発表 (講演論文集・Proceedings)

- K. Kodama, K. Yasuda, H. Yamagiwa, "The relationship between degrees of freedom and the adaptability or flexibility in human postural standing", *Proceedings of Fifth International Workshop on Skill Science (SKL 2018)*, pp.22-33, 2018
- M. Yamada, K. Kodama, D. Shimizu, Y. Ogai, S. Suzuki, "Visualization of Cognition and Action in the Shooting Skill Acquisition Process in Ice Hockey", *Proceedings of Fifth International Workshop on Skill Science (SKL 2018)*, pp.34-52, 2018
- 桜井良太・児玉謙太郎「錯視が障害物越し越し時の運動・視線行動に与える影響」、*信学技報*、vol. 118、no. 262、HIP2018-59、pp.13-15、2018
- 児玉謙太郎・安田和弘・山際英男「関節自由度の固定が重心動揺に与える影響：予備的検討」、*日本機学会シンポジウム：スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2018講演論文集*、C-9、pp.1-7、2018
- 山際英男・甲斐結城・松木友美・矢崎有希・加我牧子・軍司敦子・小町祐子・児玉謙太郎「重症心身障害児(者)に対する視覚機能評価 第2報 アイトラッカーを用いた選好注視」、*日本重症心身障害学会誌 第44回日本重症心身障害学会学術集会プログラム・抄録特集号*、Vol.43、No. 2、p.391、2018
- 青野裕生・大海悠太・児玉謙太郎・山際英男・山本正彦「骨格情報とアンケートによるスラックライン上での片足立ちバランスの判別方法の検討」、*第26回身体知研究会予稿集*、pp.5-6、2018
- 大海悠太・青野裕生・児玉謙太郎・山際英男・山本正彦「骨格情報と主観報告を用いたスラックラインでの片足立ちバランス能力の分析」、*LIFE2018大会発表論文集*、pp.466-467、2018
- 大海悠太・児玉謙太郎・山際英男・坂野安希・山本正彦「Kinectを用いたスラックラインでの片足立ちバランス能力の分析」、*人工知能学会全国大会(第32回)*、4 B1-OS-19c-01、2018

- 大海悠太・児玉謙太郎・坂野安希・山本正彦「Kinect を用いたスラックラインの熟達方法の検討」、第25回身体知研究会予稿集、pp.16-19、2018
- 児玉謙太郎・山際英男「スラックラインの熟達過程に関する事例研究」、日本認知科学会第35回大会発表論文集、pp.628-631、2018【査読あり】
- 桜井良太・児玉謙太郎「錯視が障害物跨ぎ越し動作に与える影響に関する行動科学的検討」、日本認知科学会第35回大会発表論文集、pp.745-748、2018【査読あり】
- 山田雅之・児玉謙太郎・清水大地・大海悠太「アイスホッケー熟達過程における発話の変容過程の可視化」、日本認知科学会第35回大会発表論文集、pp.970-971、2018【査読あり】
- 児玉謙太郎・安田和弘・牧野遼作「リハビリテーションにおける身体知へのアプローチ」、2018年度人工知能学会全国大会（第32回）論文集、2 B2-OS-19a-02、2018
- 大海悠太・児玉謙太郎・坂野安希・山本正彦「Kinect を用いたスラックラインの熟達方法の検討」、第25回身体知研究会予稿集、pp.16-19、2018
- 児玉謙太郎・清水大地・牧野遼作「コミュニケーションにみられる自己組織化：身体協調の観点から」、語用論学会メタファー研究会「身体性」シンポジウム、2018
- 児玉謙太郎・清水大地・牧野遼作「Leader-Follower 関係の定量化手法の検討—個人間協調運動課題における予備的検討」、信学技報、117 (509)、pp.5-9、2018
- K. Kodama, K. Hori, H. Massaki & H. Matsui, "Embodied communication in a counselling session: single case study with mixed method", International Congress of Applied Psychology 2018
- H. Matsui, K. Kodama, K. Hori, & H. Massaki, "An exploratory study of interpersonal dynamics in counseling session", International Congress of Applied Psychology 2018

3 研究助成

- 「共生性に基づく個人間協調がりハビリテーション場面での運動支援に及ぼす効果」日本学術振興会：平成30-32年度 科学研究費助成事業 基盤研究（C）（特設分野）（研究代表者）
- 「身体自由度と重心動揺の関係—転倒リスク推定法の確立に向けて」神奈川大学：平成30-31年度 共同研究奨励助成金（研究代表者）

4 その他

【役職】

人工知能学会誌 編集委員（2018年4月～）

【セッション企画】

児玉謙太郎「身体知を研究するスキル」、第25回身体知研究会セッション企画、2018年3月5日

児玉謙太郎・清水大地「Beyond Synchrony To Maai」、日本認知科学会間合い研究会・第12回分科会ゲスト企画、2018年11月17日

【話題提供】

K. Kodama, "Difficulty in distinguishing input from output in human movement!", Panel discussion in Fifth International Workshop on Skill Science (SKL 2018), 2018

五嶋 陽子 (ゴトウ ヨウコ)

1 論文

「ニューディール初期農業調整事業の受益構造の再考」『経済貿易研究』第44号、2018年3月、17-38頁

「両大戦期アメリカの農業問題と政策課税—均一化料金・製造者売上税・加工税」『財政研究』第14号、2018年9月、184-208頁（査読あり）

2 学会報告等

“Innovation and the Role of the National Government in Japan”, International Conference and Seminar “Japan and Estonia: Contemporary Challenges in Humanities and Social Sciences”, University of Tartu, 27 September, 2018

呉 春美 (ゴ ハルミ)

1 学会・研究会報告

・「英文読解と映像メディアの相乗効果を目指した授業づくり」第24回映像メディア英語教育学会全国大会（京都外国語大学）2018年10月27日

・Ryan SPRING, Harumi GO, Sachiko NAKAMURA “Curation on Online Videos for English Learners” The 24th ATEM National Convention (Kyoto University of Foreign Studies) October 27th 2018

・「フランスと禅—弟子丸泰仙の足跡を訪ねて」マネジメント&マーケティング研究会（神奈川大学）2017年12月5日

酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ)

1 論文

「Sims の FTPL（物価水準の財政理論）再考」『商経論叢』第53巻第4号、2018年8月、87-96頁

佐藤 孝治 (サトウ コウジ)

1 著書他

「テレワーク・セキュリティガイドライン報告書・第4版」（監修 佐藤孝治）、総務省、2018年4月

「東日本大震災の教訓—空撮映像を通して考える復興の問題点」『自治研神奈川月報』第169号、(公社) 神奈川県地方自治研究センター、1～12頁、2018年2月

2 講演等

「原発ゼロと日本の歩むべき道」(講師: 元内閣総理大臣・小泉純一郎氏) 神奈川大学連続講演会『福島第一原発事故と日本の歩むべき道—21世紀のエネルギー政策とわが国の課題』第4回(神奈川大学横浜キャンパス、企画・司会担当)、2018年12月8日

「原発事故から30年を経たチェルノブイリの医療支援活動」(講師: 長野県松本市長・菅谷昭氏) 神奈川大学連続講演会『福島第一原発事故と日本の歩むべき道—21世紀のエネルギー政策とわが国の課題』第3回(神奈川大学横浜キャンパス、企画・司会担当)、2018年11月24日

「放射能と災害支援—飯館村を事例とする被災地支援」(講師: 日本大学生物資源科学部特任教授・糸長浩司氏) 神奈川大学連続講演会『福島第一原発事故と日本の歩むべき道—21世紀のエネルギー政策とわが国の課題』第2回(神奈川大学横浜キャンパス、企画・司会担当)、2018年11月17日

「福島原発事故報道の虚実—事実の「見える化」に何が必要か」(講師: 危機管理アドバイザー・石塚道義氏) 神奈川大学連続講演会『福島第一原発事故と日本の歩むべき道—21世紀のエネルギー政策とわが国の課題』第1回(神奈川大学横浜キャンパス、企画・司会担当)、2018年11月10日

「空撮映像で考える三陸沿岸の現状と問題点—3.11から7年半の津波被災地」早稲田大学理工学術院『臨海部の地震・津波防災性向上に関する懇談会』第23回(早稲田大学西早稲田キャンパス)、2018年10月17日

「大規模災害における企業の対応—熊本地震・大阪北部地震の教訓は何か」横浜駅西口共同防犯・防災講演会、(横浜市神奈川区、横浜市消防局市民防災センター)、2018年10月11日

「Current Situation of Recovery from the Great East Japan Earthquake through Aerial Video and Photos」University of California at Davis, The Institute of Transportation (カリフォルニア州デービス市)、2018年9月10日

「空撮映像を通して考える被災地復興の現状と津波防災の課題」大分県佐伯市米水津小浦地区講演会(大分県佐伯市、小浦地区公民館)、2018年8月4日

「特別講演会『福島第一原発事故による住民の対応とその後の影響』」(講師: 陶芸家・池田匡優氏、神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト主催、司会担当)(神奈川大学横浜キャンパス)、2018年6月30日

「格差社会と若者の現状—大学で学ぶことの大切さを考える」東京実業高等学校特別講義(神奈川大学横浜キャンパス)、2018年3月13日

3 その他

総務省「テレワーク・セキュリティガイドライン」検討会座長(2017年8月—2018年4月)

「複合災害に備えよう 知る深める」『神奈川新聞』、2018年10月14日

佐藤 睦朗 (サトウ ムツオ)

1 論文・資料紹介

「19世紀フェーダ教区における農民農場の借地契約書」『商経論叢』第53巻第4号(2018年8月)、97~108頁

「スウェーデン農村史・農業史研究における電子化史料」『北欧史研究』第35号(2018年11月)、145~151頁

品川 俊介 (シナガワ シュンスケ)

1 研究論文

「ヴィンテージ資本と安定性－遅延微分方程式を用いた動学分析－」『南山経済研究』第32巻第3号、pp.239-251、2018

玉井 義浩 (タマイ ヨシヒロ)

1 学会発表

“Quality of Information and the Bail-out Policy of the Lender of Last Resort” 14th Annual Conference of Asia-Pacific Economic Association, 南カリフォルニア大学 (ロスアンゼルス)、2018年8月4日

戸田 龍介 (トダ リュウスケ)

1 学会賞受賞

以下の著書に対し、2018年10月13日、日本会計史学会第37回大会(於:日本大学経済学部)において、日本会計史学会賞が授与された。

『日本における農業簿記の研究－戦後の諸展開とその問題点について－』中央経済社、2017年3月(単著)

2 論文

「IAS第41号『農業』における公正価値測定が投げかけるもの」『企業会計』第70巻第2号、2018年2月、4-5頁(単著)

「誰が為に日本の農業簿記は展開されたのか」『企業会計』第70巻第1号、2018年1月、4-5頁(単著)

3 講演会・学会司会等

学会賞受賞記念研究報告会「日本における農業簿記の研究—戦後の諸展開とその問題点について—」（神奈川大学横浜キャンパス1号館502室）11月28日

徳賀ゼミ OBOG 研究会講演「日本における農業簿記の研究—これまでの成果とこれからの研究について—」（京都大学経済学部リフレッシュルーム）10月6日

学会司会（日本簿記学会第34回全国大会、西南学院大学2号館8階大会議室、16:10-17:35）
簿記研究部会報告（①簿記理論研究部会：上野清貴部会長「簿記における計算構造の総合的研究、②簿記教育研究部会：加瀬きよ子部会長「高大連携の視点から考える簿記教育」、③簿記実務研究部会：梅原秀継部会長「収益会計の現状と課題」）に対して、8月24日

横浜市次世代育成事業「みんな知ってる？ 会計学ってオモシロイ！～これからの人生に役立つ、かもしれない『会計学』のお話し～」（クイーンズタワーA棟14階みなとみらいエクステンションセンター演習室3）8月17日

4 その他（研究会報告、外部資金獲得状況、外部委員会委員等）

研究会発表論題：「IAS 第41号『農業』における公正価値測定についての一考察」（第188回九州会計研究会、九州大学経済学部6階大会議室、2月10日）

外部資金獲得：平成29～31年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号17K04077、課題名「国際会計基準第41号『農業』の適用実態調査に基づく公正価値会計の考察」

税理士試験試験委員（平成29年度～）、日本会計研究学会開催校幹事（平成29～30年度）、同学会第77回大会準備委員会委員（平成30年、開催：9月3日～9月6日）、同学会評議員（平成30年度～）、日本簿記学会理事（平成29年度～）

中西 勇人（ナカニシ ハヤト）

1 ディスカッションペーパー

Nakanishi, H., & Iwasawa, M. (2018). Preference Parameter Changes in Life-cycle Consumption Models: the Measurement-error-robust Approach. Discussion paper: Panel Data Research Center, Keio University

鳴瀬 成洋（ナルセ シゲヒロ）

1 論説

「コメント 田淵太一・久松太郎『リカードはリカード・モデルを提示したのか』」日本国際経済学会編『国際経済』第69巻、2018年、32～40ページ

2 学会発表

「マルクス派貿易論：国際価値論と不等価交換論—交易条件論を超えて」2018年マルクス生誕

200年記念国際シンポジウム「21世紀におけるマルクス」、2018年12月22日・23日、法政大学
板木雅彦「価格ニューメレールと不等労働量交換－リカード・マルクス型貿易論より」に対する
予定討論、日本国際経済学会第8回春季大会、2018年6月6日、北海道大学

Hiroaki SASAKI “North-South Trade and Uneven Development in a Classical Conventional Wage
Share Growth Model” に対する予定討論、日本国際経済学会第77回全国大会、2018年10月
13日・14日、関西学院大学

3 研究会報告

「マルクス派国際貿易論——国際価値論と不等価交換論——」立命館大学経済学会セミナーシ
リーズ、2018年5月12日、立命館大学 BKC キャンパス

西村 陽一郎（ニシムラ ヨウイチロウ）

1 論文

マーガレット・ワーセマ・西村陽一郎・鈴木健嗣、2018, “Executive Succession: The Impor-
tance of Social Capital in CEO Appointments”, *Strategic Management Journal*, Vol.39, No.5,
pp.1473-1495.

大西宏一郎・西村陽一郎、2018、「中小企業における特許保有・営業秘密とパフォーマンスの
関係—特許審査請求料・特許料減免制度の非連続性をを用いた分析—」『日本知財学会誌』
Vol.15, No.2, pp.68-85.

2 報告

Nagaoka, Sadao and Nishimura, Yoichiro, "Do grace periods promote knowledge spillover? : evi-
dence from Japan", CEPR-RIETI Joint Workshop on "Science and Innovation", 26 February
2018, National Institute of Economic and Social Research, London, the UK.

西村陽一郎、2018、「特許統計から見た中国・台湾」、2018年6月29日、国際シンポジウム『躍
進する中国・台湾経済と日本企業の将来』、神奈川大学。

Nagaoka, Sadao and Nishimura, Yoichiro, "Dose grace period promote knowledge spillover? : evi-
dence from Japan", August 28, 2018, 33rd Annual Congress of the European Economic Associa-
tion & 71th European Meeting of the Econometric Society, The University of Cologne, Germa-
ny.

西村陽一郎、2018、「社長交代に関する研究」、2018年10月3日、MM研究会、神奈川大学

Nishimura, Yoichiro, 2018, The Structure of Transferring Ownership of Inventions: Outlook in Ja-
pan, October 29, 2018, International Conference of Innovative Research in East-West Business,
2018 DUT FME International Academic Exchanges Week, Dalian University of Technology.

Nagaoka, Sadao and Nishimura, Yoichiro, "Dose grace period promote knowledge spillover? : evi-
dence from Japan", November 7, 2018, Workshop at Center for Law & Economics, ETH Zurich,
Switzerland.

3 その他

平成28年度～平成32年度 基盤研究 (C) 研究代表者「わが国企業の特許戦略に関する実証研究－社長交代及び模倣戦略の観点から－」

平成29年度～平成32年度 基盤研究 (B) 研究分担者「経営理念、雇用構造、トップマネジメント構造が企業の財務政策に及ぼす影響」

平成30年度～平成32年度 基盤研究 (C) 研究分担者「特許制度と企業の収益性に関する研究」

研究・イノベーション学会編集委員 (2018年4月～)

原口 純一 (ハラグチ ジュンイチ)

1 論文

Junichi Haraguchi and Toshihiro Matsumura (2018) "Government-Leading Welfare-Improving Collusion " International Review of Economics and Finance 56, pp.363-370.

Junichi Haraguchi, Toshihiro Matsumura, and Shohei Yoshida (2018) "Competitive Pressure from Neighboring Market and Optimal Privatization Policy" Japan and the World Economy 46, pp.1-8.

Junichi Haraguchi and Hikaru Ogawa (2018) "Leadership in Tax Competition with Fiscal Equalization Transfers" The B.E. Journal of Economic Analysis & Policy, 18(3).

Yuta Yasui and Junichi Haraguchi (2018) "Supply Function Equilibria and Nonprofit-Maximizing Objectives" Economics Letters, 166, pp.50-55.

比佐 章一 (ヒサ ショウイチ)

1 書籍

The future of Southeast Asian countries 八千代出版 (編著 Yasuyuki Komaki)

Ch. 5 Shoichi Hisa, Yuko Hisa and Hidenobu Okuda "Transactions, Network Centrality, and Foreign Direct Investment as well as Withdrawal of FDI by Japanese Firms"

Ch. 6 Yuko Hisa and Shoichi Hisa "Dynamics of the Network Structure and Activity of Japanese Firms"

松村 敏 (マツムラ サトシ)

1 論文

「明治前期における旧加賀藩主前田家の資産と投資意思決定過程—藩政から華族家政へ—」『商経論叢』第53巻第1・2合併号、2018年1月、55～125頁

- 「明治前期、旧加賀藩家老横山家の金融業経営と鉾山業への転換—鉾山華族横山家の研究(1) —」『商経論叢』第53巻第1・2合併号、2018年1月、127~175頁
- 「近代日本における名望家的地方資産家の存在形態—広島県尾道・橋本家の事例—」『商経論叢』第53巻第4号、2018年8月、109~147頁

2 報告

「旧加賀藩家老横山家と尾小屋鉾山」鉾山研究会（於川崎市産業振興会館）、2018年9月1日

三島 齊紀（ミシマ ムネノリ）

1 学会・研究会報告

- 三島齊紀 他「日本における職業教育の問題点について」高雄科技大学・神奈川大学共同研究・討論会（台湾・高雄科技大学）、2018年3月
- 三島齊紀 他「日本での結婚に起因する経済格差の拡大について」高雄科技大学・神奈川大学共同研究・討論会（台湾・高雄科技大学）、2018年3月
- 「マズローによるベネディクト理論の受容について」東北心理学会 第72回大会（岩手大学）、2018年11月
- 「A. H. マズローの著書 *Motivation and Personality* に関する一考察」マネジメント&マーケティング研究会（神奈川大学）、2018年12月

2 その他

- 「マズロー「1943年論文」の留意点について—「1948年論文」との比較において—」（単著）『中国四国心理学会論文集 第50巻』、中国四国心理学会、2018年3月、23頁

山名 一史（ヤマナ カズフミ）

1 論文

- "Risk-Taking, Inequality and Output in the Long-Run," Bank of Japan Working Paper Series 18-E-4, Bank of Japan, 2018 (Mar) (with Shuhei Aoki and Makoto Nirei)
- 「東京都における民泊の現状：先行研究のサーベイと Airbnb の宿泊データを用いた実態の把握」『経済貿易研究』第44号、149-166、2018年3月
- 「デジタル・エコノミーの実証分析」『統計』、2018年11月

2 発表

- "Creative Destruction in Organizational Capital: Evidence from the Online Platform Economy in Japan and the United States", IARIW, 2018 (Aug)
- "Structural household finance", IISES, 2018 (Sep)

“Value of Data: There’s no Such Thing as a Free Lunch in the Digital Economy”, The Sixth IMF Statistical Forum: Measuring Economic Welfare in the Digital Age: What and How?, 2018 (Nov)

山本 崇雄 (ヤマモト タカオ)

1 著書

『理論とケースで学ぶ国際ビジネス (第4版)』江夏健一・桑名義晴 (編著)、第10章「国際人的資源管理」、pp.156-166、同文館出版、2018年3月

2 学会報告

「日本企業の教育ビジネスの新興国展開 - 東南アジア諸国への参入事例から -」、国際ビジネス研究学会第25回全国大会 (早稲田大学)、2018年11月11日、単独報告

「日本のパーソナルファイナンス企業のアジア展開—2社の事例から—」、パーソナルファイナンス学会第19回全国大会 (千葉商科大学)、2018年12月2日、共同報告：竹之内秀行、今井雅和

山本 博史 (ヤマモト ヒロシ)

1 論文

「タイにおける王党派思想とナショナリズム」永野善子編著『帝国とナショナリズムの言説空間』御茶の水書房、2018年3月

2 学会発表

アジア政経学会全国大会自由論題2「東南アジアの経済」報告2：國本康寿先生「タイの経済発展のゆくえ：プーミポン国王が掲げた「足るを知る経済」を手掛かりに」に対する討論、2018年6月9日

横川 和穂 (ヨコガワ カズホ)

1 学会・研究会報告

“Evolution of Fiscal Federalism and Social Integration in Russia”, Session 22: International Comparison on the Relationship between State and Civil Society in Post Transition Economies, EACES 15th biennial conference, September 7, 2018, at Warsaw School of Economics, Poland
「ロシアにおける財政連邦主義の発展と社会統合」比較経済体制研究会第37回夏季研究大会、2018年8月25日、於：京都大学経済研究所

2 その他

(学会討論者)

田畑伸一郎（北海道大学）、梶谷懐（神戸大学）、福味敦（兵庫県立大学）、佐藤隆広（神戸大学）報告「ユーラシア地域大国の中央・地方財政関係」に対する討論者、比較経済体制学会第58回全国大会、共通論題「ユーラシア地域大国の比較と関係」、2018年6月9日、於：北海道大学

(研究助成)

平成30年度～32年度、文科省科学研究費補助金（基盤研究C）研究課題名「21世紀ロシアにおける公共サービスの再編と地方財政」（研究代表者）

平成30年度京都大学経済研究所プロジェクト研究「ポスト移行経済における国家と市民社会の関係に関する国際比較研究」（研究代表者）